



1 都々逸 発祥の碑  
都々逸とは、七・七・七・五の音数律に従い唄う俗曲で、発祥はここ宮宿。始めは熱田神戸節とされてきたが後に江戸で流行。都々逸として全国に広まった。



裁断橋物語  
欄干の擬宝珠(ぎぼし)に子を思ふ母の絆を表す名文(日本女性三大名文)が刻まれている。擬宝珠は名古屋市博物館に所蔵されている。



2 鈴之御前社  
昔はこの宮で鈴祓(はらい)を受けながら熱田神宮に参拝するのが慣わしだった。毎年7月31日に無病息災の神事「茅(ち)の輪くぐり」がある。この日限定の御朱印が頂ける。



3 旧東海道道標  
江戸時代、お伊勢まいりが流行し、宮宿は熱田さん参拝と七里の渡し船を待つ人で大いに賑わう。街道に2本の道標があった。

### 4 戦国時代の思いを馳せる



41 宮宿

熱田湊

熱田湊は古くから伊勢湾を核とした物流の中心地で、東西文化や経済の交流で大いに栄えた。織田信長がこの湊の権益をめぐり桶狭間の戦いで今川義元に歴史的勝利を取った。織田信長亡き後も、豊臣秀吉や徳川家康との関係は続いた。江戸時代東海道宮宿と桑名宿を結ぶ七里の渡しがあり、日本一の旅籠(はたご)数を誇った。この頃、七里の渡し船着き場横には徳川将軍が宿泊できる東浜御殿(海上要塞)があり特殊な風景が多く、浮世絵に残されている。現在は、当時の常夜灯や時の鐘が復元された宮の渡し公園になっている。

42 桑名宿



EXCEL INN NAGOYA ATSUYA  
「熱田」に行こう。  
「宮宿」で泊まろう。  
エクセルイン名古屋熱田  
〒456-0034 名古屋市長熱田区伝馬二丁目4-17  
TEL. 052-683-1611 https://excel-inn.com

印刷物の企画制作  
KOZUKA printing and planning  
熱田区木之免町 105 代表 小塚 二郎  
MAIL info@kozuka-p.jp

Dining なるかわ  
ワイン・欧風料理  
【営業時間】  
ディナー/17:30~22:30 (オーダーストップ21:30)  
定休日:毎週火曜日 祝日は営業いたします。  
〒456-0034 名古屋市長熱田区伝馬町2-2-11  
ファミール山本1F TEL/FAX 052-682-3977

「あいち」発祥の地  
あいち(愛知)の呼び名は熱田万葉集「年魚市瀉(あゆちがた)潮干にけらし 知多の浦に朝漕ぐ船も沖によるみゆ」の枕詞が語源と伝えられる。  
あいち(愛知)の呼び名は熱田万葉集「年魚市瀉(あゆちがた)潮干にけらし 知多の浦に朝漕ぐ船も沖によるみゆ」の枕詞が語源と伝えられる。

愛知県産の食材を中心とした地産地消レストラン&バー  
厨 宮宿房  
Miyashukubou  
伝馬町1番出口すぐ南隣ビル2F  
Lunch 11:30~14:00 Dinner 17:00~22:00



8 旧魚半別邸 宮の駅交流サロン  
熱田荘の奥座として建てられ、戦時中の空襲から奇跡的に焼け残った。明治・大正・昭和の古民家が見学できる。(ミニ観光案内所併設)現在はNPO法人が管理している。



9 熱田魚問屋 モニュメント  
室町時代には熱田で魚の市が開かれており、織田信長の居城・清須城に魚を運んだといわれている。後に魚問屋が設けられた。このモニュメントは、魚問屋の建物の保存部材を活用して造られた。



7 熱田荘  
明治29年(1896)「魚半」という料亭として建てられた。現在は高齢者福祉施設となっている。近世の町屋形式を継承しており、宮宿の景観をしのばせる数少ない遺構となっている。



6 丹羽家 (旧旅籠屋 伊勢久)  
創建は不明だが、天保12年(1841)の「尾張名所図会」に当家と思われる玄関、屋根が描かれている。玄関・屋根の造りから、脇本陣格の旅籠とされる。



七里の渡し船旅 学習会  
毎年11月頃に、現代の風景を見ながら船旅を体験できる。詳細はホームページ参照  
NPO法人 堀川まちネット  
TEL/FAX: 052-682-5008



5 東浜御殿の銘板  
寛永元年(1624)に初代尾張藩主徳川義直の命で神戸(ごうど)の浜を埋め立てて出島を作り、そこに造営された。三代將軍徳川家光が上洛の際に止宿した。敷地は東西120m南北100m以上で、海上城郭の様相を誇り、名古屋城本丸御殿に匹敵する壮麗な仕様であったと考えられている。絵図にある鳥居近くには西浜御殿も描かれている。



裁断橋で母の深い愛を知る。熱田湊で宮宿の当時の旅籠屋を観る。魚問屋モニュメントで明治時代の柱に触れる。七里の渡しの意味を知った時、一瞬で戦国時代にタイムスリップ。ここは、まだまだ歴史が生きている!



詳しく見る